

六郷助けあいプラットフォーム

勉強会



平成30年10月2日（火）

本日のタイムスケジュール

時間	内容
18：30	趣旨説明
18：40	勉強会 テーマ：他の団体の活動を知ろう 「気まぐれ八百屋だんだん」
19：30	質疑応答
19：40	休憩
19：45	お知らせコーナー
19：55	グループワーク 「講義を聞いての感想 + α 」
20：20	グループ共有
20：30	終了

六郷助けあいプラットフォームの趣旨

六郷地域で活動する団体（者）どうしの顔の見える関係づくり、そして地域の福祉課題を解決するために連携が取りやすい環境（土台）をつくるのが目的です。

そのため、地域のニーズや実態把握、必要なことを議論する「話し合いの場」と活動において必要な知識を深めるための「勉強会」を実施し、団体同士の課題等の認識や目的を共有します。

また、そのことによって把握できた「地域に足りない機能」や「手伝ってほしいこと」などを明確化することによって、「必要な取り組みの創出」や「人材の確保」をめざしていきます。



◆開催頻度・・・月1回程度

◆開催日・・・毎月**第1火曜日の夜6時30分**から

◆会場・・・六郷地域力センター 4階会議室

◆対象者

六郷で福祉に関する活動などを行っている方で、子どもの課題解決にご関心のある方

◆今後の参加者

参加者の口コミで徐々にメンバーを増やしていく。

◆地域外の参加

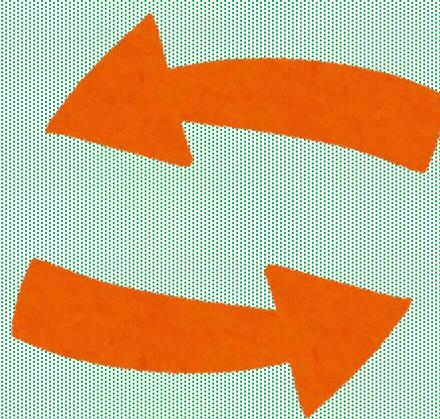
場合によってはゲスト扱いで参加や見学もありとする。

話し合いのルールについて

- ① 誰かを批判する発言や、その課題が誰のせいなのか追及しないようにしましょう。
- ② 必ず発言をしましょう。
- ③ お互いの活動の違いを理解しましょう。
- ④ この集まりで共有した課題や情報は、地域のために活用しましょう。

年間スケジュール（案）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
話し合いの場 ＜ニーズ把握＞	○	○		○			○		○		○
勉強会 ＜インプット・ リソース把握＞			○		中止	○		○		○	



ホームページにてお知らせします！



コチラからホームページにアクセスしてください。

● 平成30年度

毎月第1火曜日の18時30分からおよそ2時間実施します。会場は、六郷特別出張所4階会議室です。

※下記日程と内容は、変更になる場合があります。その際は、このページでお知らせいたします。

実施日	実施内容	実施状況
5月8日(火) 18時30分～	平成29年度の報告会	参加者43名 資料(PDF)
5月8日(火) 19時15分～	話し合いの場	参加者45名 結果報告(PDF) 資料(PDF)
6月5日(火) 18時30分～	話し合いの場	
7月3日(火) 18時30分～	勉強会	
8月7日(火) 18時30分～	話し合いの場	
9月4日(火) 18時30分～	勉強会	

今後、こちらに会議の結果などを掲載していく予定です。





見えてきた課題の本質（H29の結果）

子ども

- 子どもの実際（コミュニケーション方法・遊びなど）がわからないことが多い。
- 「わからない」ということも地域の課題である。

支援者

「個人情報保護」は壁ではなく、「個人情報をどう使い、管理するのか」の情報が共有されていないことが不安につながっている。ただし、本人同意を得ることは容易ではない。

親・家庭

- 必要なのに相談できない人、孤立している人が相談できる仕組みが必要
- SOSが出せる地域づくりが必要

人材

- ライフスタイルが変わってきていることをとらえられていない。
- 手伝ってほしいことが明確にできていない。
- 今までのやり方を変えるのは大変である。



連携して取り組めること（H29の結果）

- 支援者側がしっかりニーズを把握する。
- 支援者と支援されるの関係ではない交流の場、機会をつくる。
- いろいろな側面の個人情報保護を勉強する。
- 助けあいのルールづくり
- 出来ないことを明確にした求人募集
- 知らない団体とももっと関わりを持つ



地域に足りない機能【募集掲示版】 (H29の結果)

●子ども食堂や学習教室

⇒目的をきちんともったもの

- インターネットで関わるしくみ
- 親・子と地域が知り合える環境
- SNSやネットによる情報発信機能

今後の勉強会について

勉強会テーマのアンケート結果

1	個人情報
11	子どもの実態
11	他の団体の活動
2	行政の制度
	その他
	協働で行っていけるような活動をできれば盛り上げられる。
	ボールウォーキングについて
	人との交流を促す問題解決のきっかけとなる「場所」のつくり方
	社協のしごと
	大田区の歴史等の講演会を子どもたちに伝える
	元保育士のスキルを活かして子育て相談に近いしゃべり場のような環境づくり
	子ども自身の意見を聞く場があると良い
	大人が良かれと想着いても子どもが望んでいること、どんな地域になって欲しいかなど直接聞いてみたい。 例) 夏休みなど利用して「子どもによる子ども会議」的な場で本音を聞きだしたい

**本日の勉強会テーマ
「他の団体の活動を知ろう」**

**「子どもの居場所を地域住民がつくることで
どのような効果があるのか」**

**気まぐれ八百屋だんだん
店主 近藤 博子 氏**

グループワーク

「講義を聞いて、感想を共有しよう」



① 講義を聞いての感想

② 六郷で、どんな子ども食堂（子どもの居場所）が必要か。

次回は、11月6日（火）18時30分から

「話し合いの場」

子どもたちを支える住民活動や、活動団体が連携して支え合う・助けあいの“しくみ”の続きを行う予定です。

どうぞよろしくお願いいたします！